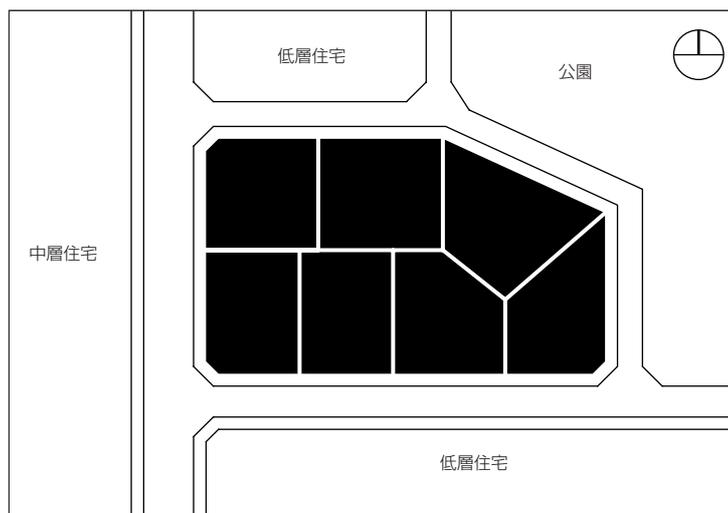
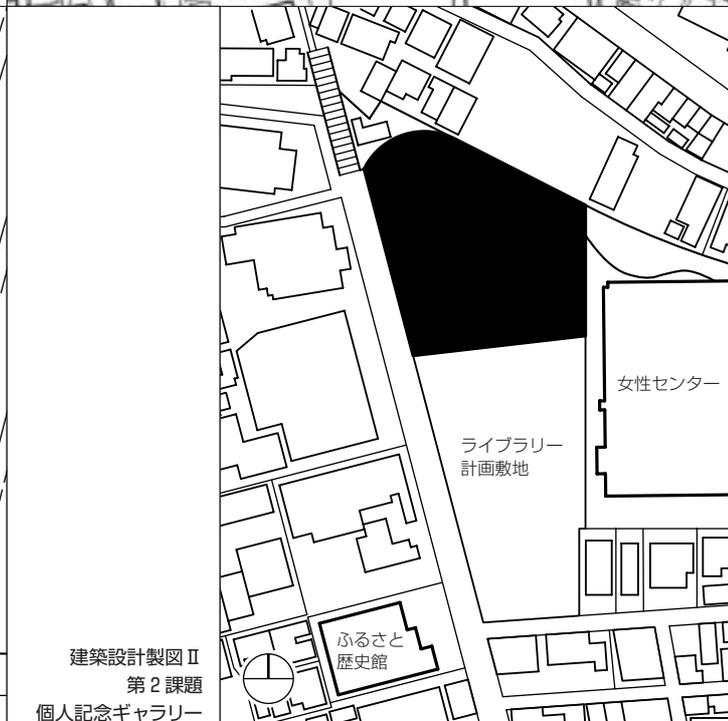
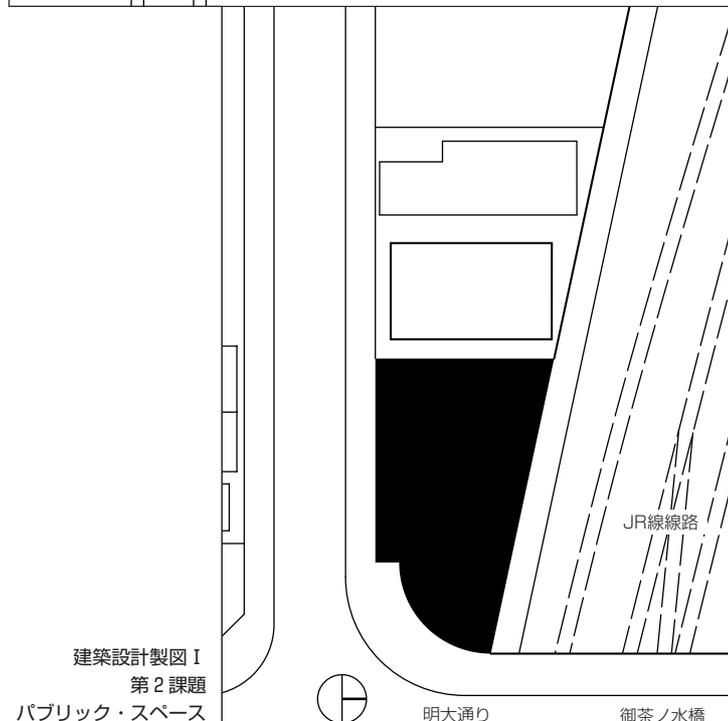


建築設計製図Ⅰ 第1課題 住宅



建築設計製図Ⅱ 第1課題 集合住宅



建築設計製図Ⅰ  
第2課題  
パブリック・スペース

建築設計製図Ⅱ  
第2課題  
個人記念ギャラリー

1年後期  
基礎製図法

第2課題

内部空間の把握と構成・表現

屋内空間で行ってみたい、あるいは、考えてみたい行為や活動を2～3選び、その行為に必要な空間をデザインする。広さ・大きさは基本的に自由(目安として4m×5m程度、高さは3～4m)とする。

(P.06～07)

第4課題

小空間の設計

個人の生活空間を計画する。誰のための何の空間か、空間の機能や空間デザインを構想し、パ

ネルと模型で表現する。定型の屋内空間(4×6×9m)を各自でデザインコンセプトを構想し、様々な空間デザインの手法を駆使し模型によるスタディを中心に設計する。

(P.08～11)

2年前期

建築設計製図Ⅰ

第1課題  
住宅

生活の原点である「住まい」について考え、その空間を計画することを通して、建築設計の幅広い思考とプロセスについて学ぶ。住宅は、極めて身近なテーマで

あるが故に、建築について学び始めた者にとっても、また大成した建築家にとっても、常に新鮮な課題を有していると言われる。誰もが日常自ら体験していることで分かりやすそうであるが、それがため逆に、経験的・教育的に刷り込まれてしまっている既存概念・固定観念も少なくない。

ここでは、家族・家庭やライフスタイルを丁寧に見つめ直して、従来の固定した住宅イメージにとらわれない、自分なりの理解の上にとった「住宅」を提案する。

建築を考える上で当然知っておくべき、人間の基本的な行動や動作特性、通風や採光といった

環境条件などについてもここできちんと学びたい。また、敷地全体を有効に利用した生活空間の計画、各機能間の結びつき、動線などについても総合的に考える建築設計の出発点としたい。

敷地：架空  
延床面積：175㎡  
家族構成：4～5人程度で自由に設定する。

(P.12～15)

第2課題

パブリック・スペース

身近な都市の街角にある機能を持った造形物を計画する。

多くの人間が行き交い、情報や交通のネットワークが高密度に集積された大都市においては、

私達の生活にとって欠かせない存在である。それは、文字中心の本や写真集から絵本やコミック本のように絵中心のものまで、また最近ではCD-ROMのようなものまで幅広い形態を持っている。それゆえ「読む」という行為だけでなく、「見る」「聞く」という行為まで様々な活動性を持っている。

本課題では、私達の身の回りで必要とされているこうした本／図書を地域の人々にサービスするための施設を計画する。公共に開かれた本／図書のサービス施設は、一般に図書館という名称を持っており、本課題を図書館として位置付けることもできる。しかし、従来の図書館の概念にとらわれず、現代の「情報化社会」における地域的なステーションとして本課題を見ることもできる。

住宅や商業・業務施設などが入り混じった都市的な環境の中で、こうした背景や利用者の視点に立った親しみやすいまちのライブラリーを提案して欲しい。また計画に際しては、利用者ばかりでなく、ここで毎日働く人達にとっても快適でサービスのしやすい環境・機能性を十分考慮して欲しい。

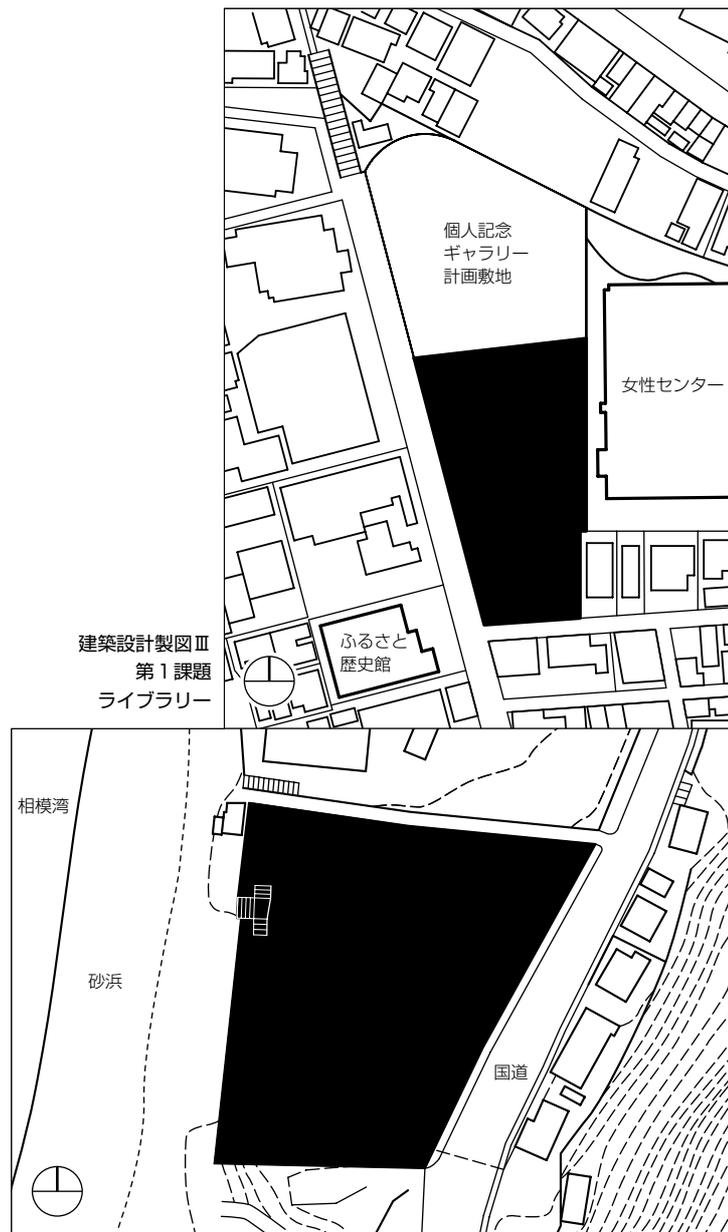
敷地：東京都文京区本郷  
延床面積：1,500㎡程度  
(P.28～31)

### 第2課題 長者ヶ崎コンプレックス

相模湾に面した葉山町の一隅に、宿泊・飲食、集会・会議、展示、スポーツ、その他の商業施設などの複合的な機能をもった施設の提案を行う。

この課題では、敷地は特定してあるが、プログラムは未定であり、上記のような大まかな機能が設定してある。そこで、各自がこの場所で、どのような活動や生活が展開するかを想定し、望ましいプログラムを立案することから始めてほしい。ただし、コンプレックスというテーマから、必ず二つ以上の機能を有した施設とすることが条件である。また、この課題では、敷地が海に面し、背後に山を控えているという景勝の地であることから、建築が風景とどのように関わるかということも重要なテーマとして取り組んでほしい。

敷地：神奈川県三浦郡葉山町  
延床面積：2,000㎡程度  
(P.32～35)



建築設計製図Ⅲ  
第1課題  
ライブラリー

建築設計製図Ⅲ  
第2課題  
長者ヶ崎コンプレックス

大通りと路地、ファサードと背面、賑わいと静けさ、集団と個人、対話と孤独など、表裏一体となった人間生活の多様で相反する様相が見え隠れしている。この課題では、具体的な都市における人々の生活や都市空間・公共空間について様々な視点からとらえ、ある機能を持った造形物をその一角に与えることで、その場を一新させ、魅力的で楽しい空間に仕立てる構想に挑戦する。

場の文脈について考えること、機能に依らずに造形すること、様々な素材・材料の特性を発見することなど、幅広い思考が求められる。敷地周辺に住んでいる人、勤務する人、学んでいる

人、あるいはまた、たまたま通りかかった人など、様々な人達が行き交う場所、神田川や駿河台という歴史を持った場所に、魅力的で生き生きとした場・空間を提案して欲しい。

敷地：東京都千代田区神田駿河台  
条件：この場所に必要と思われる機能を各自が構想する。  
例えば、ポリスポックス、公共トイレなど。  
(P.16～19)

### 2年後期

#### 建築設計製図Ⅱ

#### 第1課題 集合住宅

様々な世代、家族構成のための快適で魅力のある小規模集合住宅を設計する。設計するにあたっては、各家族の生活像・ライフスタイル等を想定する。集まって住むことのメリットを生かし、相互のコミュニケーションを大切にした計画をたてる。又、周囲の街並み・植栽等に配慮した計画とする。

敷地：東京都文京区本郷  
住戸数：8戸  
家族型：各住戸について想定する。  
住戸規模：55～120㎡/戸  
(P.20～23)

### 第2課題

#### 個人記念ギャラリー 造形作家(画家・彫刻家・写真

家・陶芸家・建築家など)の個人を記念した展示ギャラリーを提案する。

自由に空間を発想し、魅力ある空間を創造する。作家の特徴にふさわしい展示ギャラリー・展示方法を考える。周辺環境との調和をはかる。

敷地：東京都文京区本郷  
延床面積：800㎡程度  
(P.24～27)

### 3年前期

#### 建築設計製図Ⅲ

#### 第1課題 ライブラリー

幼児から大人まで、本／図書は